

人を対象とする医学系研究についての「情報公開文書」

研究課題名：ICT を取り入れた新しい解剖学教育とその教育効果の検討

・はじめに

解剖学は、生理学や生化学などと並んで医学全体の基本となる「基礎医学」の一つです。その中でも解剖学は最も古い歴史があります。十年一日のように押搦されることもあります。実際には臨床医学の発展に伴って、解剖学に求められる内容も様変わりしています。医学生のための解剖学教育をそれに合わせて改善する必要があります。それに向けて、群馬大学医学部医学科の解剖学の授業では、解剖学実習と CT とを組み合わせるなど、ICT（Information and Communication Technology、情報通信技術）を取り込んでいろいろな工夫をしてきました。この研究では、群馬大学医学部医学科で実際に行われている解剖学の授業を評価し、よりよい解剖学教育の方法を探求します。これによってより有能な医師が輩出され、医療の向上につながると期待されます。

・研究に用いる試料や情報の利用目的と利用方法（他機関に提供する場合にはその方法を含みます）について

この研究では、群馬大学医学部医学科の解剖学の授業で得られる成績・アンケートなどの授業情報を使います。授業での工夫をした前後でそれらを統計的に比較し、工夫の効果を判定します。情報は、研究事務局内でのみ扱い、教育業務で必要な場合を除き、他に提供することはありません。

・研究の対象となられる方

群馬大学医学部医学科において 2007 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日の解剖学の履修生が対象になります。対象となることを希望されない方は、相談窓口（連絡先）へご連絡ください。解剖学の履修当時に未成年だった場合、当時の保護者からの希望も同様に受け付けます。希望されなかった方の情報は、研究には使用しません。ただし、対象となることを希望されないご連絡が 2020 年 10 月以降になった場合には、研究に使用される可能性があることをご了承ください。また、もともと匿名の情報や、記名でも集計によって個人に結びつかなくなった情報に関しては、ご希望に添えません。

・研究期間

研究を行う期間は医学部長承認日より 2023 年 3 月 31 日までです。

・研究に用いる試料・情報の項目

群馬大学医学部医学科の解剖学の授業で得られる成績・アンケートなどの授業情報をもとに統計処理します。

・予想される不利益(負担・リスク)及び利益

この研究を行うことで、授業自体の他に履修生に余分な負担が生じることはありません。また、本研究で被験者となった履修生が直接受ける利益・不利益はありません。本研究でデータを利用するかどうかは、解剖学の成績評価とは関係しません。しかし、この研究成果によって、後の履修生がよりよい解剖学の授業を受けられ、解剖学教育の発展に寄与し、より優秀な医師が輩出され、医療全体の向上に寄与すると考えています。

・個人情報の管理について

個人情報の漏洩を防ぐため、群馬大学大学院医学系研究科機能形態学においては、データの暗号化、保管メディアのアクセス制限、データ保管場所の施錠など、厳格な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしています。また、本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、個人を特定できる情報は含まれません。

・試料・情報の保管及び廃棄

この研究により得られた情報は、群馬大学大学院医学系研究科機能形態学で保管されます。この情報は、研究終了後ないし教育業務で必要な期間の終了後も10年間保存し、保存期間が終了した後にファイルの多重上書き消去、保存メディアの破壊など、セキュリティを確保した方法により消滅させます。

・研究成果の帰属について

この研究により得られた結果が、特許権等の知的財産を生み出す可能性がありますが、その場合の特許権等は研究者もしくは所属する研究機関に帰属することになり、あなたにこの権利が生じることはありません。

・研究資金について

この研究を行うために必要な研究費は、群馬大学によってまかなわれます。

・利益相反に関する事項について

研究グループが公的資金以外に企業などからの資金提供を受けている場合に、

研究が企業の利益のために行われているのではないか、あるいは研究結果の公表が公正に行われないのではないか（企業に有利な結果しか公表されないのではないか）などといった疑問が生じることがあります。これを利益相反（被験者の利益と研究グループや企業などの利益が相反している状態）と呼びます。この研究は、特定の企業からの資金提供を受けておらず、特定の企業の利益を優先させて、あなたへの教育内容を変えたり、研究の公正さを損なうことはありません。この研究の利害関係については、群馬大学利益相反マネジメント委員会の承認を得ております。また、この研究過程を定期的に群馬大学利益相反マネジメント委員会へ報告などを行うことにより、この研究の利害関係について公正性を保ちます。

・「群馬大学 人を対象とする医学系研究倫理審査委員会」について

この研究を実施することの妥当性や方法については、多くの専門家によって十分検討されています。群馬大学では人を対象とする医学系研究倫理審査委員会を設置しており、この委員会において科学的、倫理的に問題ないかどうかについて審査し、承認を受けています。

（ホームページアドレス：<https://www.rinri.amed.go.jp/>）

・研究組織について

群馬大学大学院医学系研究科機能形態学が主体となって行っています。機能形態学は、群馬大学医学部医学科の解剖学の授業を担当しています。

この研究を担当する研究責任者、研究分担者は以下のとおりです。

研究責任者

所属・職名：医学系研究科機能形態学・准教授

氏名：村上 徹

連絡先：027-220-7912

研究分担者

所属・職名：同・教授

氏名：岩崎広英

連絡先：同上

所属・職名：同・講師

氏名：多鹿友喜

連絡先：同上

・研究対象者の権利に関して情報が欲しい場合あるいは健康被害が生じたときに連絡をとるべき相談窓口について

研究対象者がこの研究および研究対象者の権利に関してさらに情報が欲しい場合、または研究によって研究対象者に損害が発生した場合に、研究対象者が連絡をとる担当者は下記のとおりです。何かお聞きになりたいことがありましたら、どうぞ遠慮なくいつでもご連絡ください。

情報を研究に用いることについて、対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡下さい。研究対象者とならない場合でも不利益が生じることはありません。

【問合せ・苦情等の相談窓口（連絡先）】

所属・職名：群馬大学大学院医学系研究科機能形態学 准教授（責任者）

氏名：村上 徹

連絡先：〒371-8511

群馬県前橋市昭和町 3-3 9-2 2

Tel：027-220-7912

担当：村上 徹

上記の窓口では、次の事柄について受け付けています。

- （１）研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法 ※他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。
- （２）研究対象者の個人情報についての開示およびその手続（手数料の額も含まれます。）
- （３）研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明
- （４）研究対象者から提供された試料・情報の利用に関する通知
 - ①試料・情報の利用目的および利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）
 - ②利用し、または提供する試料・情報の項目
 - ③利用する者の範囲
 - ④試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称
 - ⑤研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること、およびその求めを受け付ける方法